

板紙・段ボール新聞

(昭和35年12月7日。第三種郵便物認可)
毎月7日、17日、27日発行
第二八三四号
二〇三三年
4年3月17日

一括管理、効率化に成功

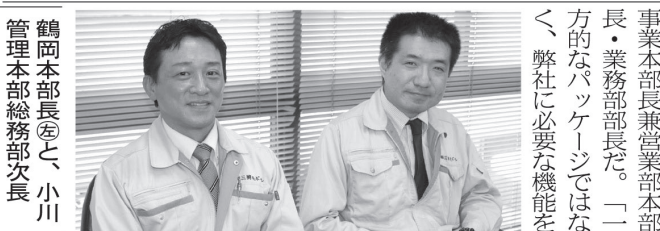
相模・千葉工場 Copatis 導入 環境改善で対応強化

三興段ボール

(株)三興段ボール(神奈川県綾瀬市、木川弘之社長)は、相模工場(同)と千葉工場(千葉県成田市)に総合基幹システム「Copatis(コパティス)」を導入した。シートおよびケース製造等に係る業務全般を一括管理できるため、飛躍的な効率化に成功。同社が得意とする急な追加注文への柔軟な対応、短納期化にも貢献している。時間的、精神的な余裕が生まれたことでワークシェアリングによる作業効率の向上やミスの減少、残業時間の削減や社員の心労負担軽減など働き方改革も実現する。



一元管理、見える化で改善・対策も容易。使い易さも特長



「東芝デジタルエンジン」心した。機能や使い易さには非常に感謝している。取捨選択できる。状況に応じて機能選択可能であることが太鼓判を押すのは、三興段ボールの鶴岡健史(長・業務部部長)だ。「一方的なパッケージではなく、弊社に必要な機能を実現できる」と語る。Copatisは、シートおよびケースの受注から出荷、物流まで幅広く対応。一元管理によって大幅な業務効率化をはじめ、見える化で受注ミスのリスク低減など改善・対策も効果的に実行できる。

特に、急なシート受注を当日すぐに製造計画に組み込み、その日のうちに製造し、翌朝には届けられる短納期化対応の体制を強みとしている同社には欠かせない。受注データおよびオーダー順等の変更が容易で、ストレスが

軽減。営業との細かい軋轢や誤解なども解消され、一層スムーズなコミュニケーションがとれている。「大手段ボール会社から仕事を任せられることもあり、『三興段ボールに頼めば何とかなる』と信頼していただいているため、顧客からの要望を具現化できる対応力向上を追求して、弊社の強みを一層発揮したい」と(鶴岡)部長と語った。



相模工場(本社) 外観。急な注文にも迅速対応

また現在、シートおよびケースの価格改定を進めているが、製造するケースは数万点にのぼる。これらのデータをすべて書き換えるのは膨大な時間と手間を要し、入力ミス等も懸念されるが、一括入力で自動的にすべて変更済みとなる。さらに後から書き換える場合も作業は容易である。

現場で働く社員の気持ちにも変化が、以前の製造現場は「良く言えば真剣で、職人たちによるシビアな空気だったが、一方で業務に忙殺されて殺伐としていた面もあった」と(同)という。導入後は、「皆の心に安心感と余裕が生まれたこと

で現場の雰囲気も変わり、コミュニケーションが取り易くなって情報共有化やチェック体制の強化も実現した。余力を活用して、新型コロナウイルス対策グッズである「児童館向けパティション」も制作できた。シートを動物などのシルエットに切り抜き、フィルムを貼った窓を開けたことで閉塞感を運びとなったが、シート

「新たな機能も試してみたい」という。鶴岡本部長は「弊社に添ったプラン変更にも柔軟に対応してくれる。現場の意見にも耳を傾け、実現する実力、実行力も感じた。やはり東芝デジタルエンジンが、元気に働き続けてもパートナーで本当に良かった」としている。最後に「昨年10月に設立60周年を迎えた。業務効率化による恩恵で、皆

とケース業務間で互換性がなく、操作画面もマウス対応していないなど使い難さもあった。これらの課題がすべて解決できた。誰でもシステムを使い易いためワークシェアリングが可能に。代理が利くようになり「自分がやるしかない」というプレッシャーやストレスから解放されCopatisを導入した20年(相模8月、千葉10月)から大幅な残業時間の軽減に成功し「いつも遅くまで残業」というイメージを払拭できた。産休後に復職を希望する社員がいるほどである。働き方改革はもろろん、データバックアップを千葉工場と補完することで事業継続計画(BCP)などにも幅広く貢献している。今後は

の笑顔が増えコミュニケーションも円滑となった。元気に働き続けてもらって、70周年もお客様に頼られ、存在意義の有る企業となれば……と励みに、そして楽しみにしている」とした。